

パワフル・エイジング研究会（団体会員）からの報告

ご報告が遅くなりましたが、2017年11月18日に、新潟の「パワフル・エイジング研究会」の主催で袖井孝子会長による講演が行われました。同研究会事務局の渡辺美代子さんより、当日の詳細な資料と報告概要が送られてきましたので、ご報告いたします。

- 1) 日 時：2017年11月18日（土）14：00～16：00
- 2) 会 場：「アルザにいがた」新潟市男女共同参画推進センター（万代市民会館3階）302号室
- 3) テーマ：分断社会を超えて～ともに分かち合い、頼り合える社会をめざして～
- 4) 講 師：袖井孝子（一般社団法人シニア社会学会会長・お菓の水女子大学名誉教授）
- 5) 主 催：パワフル・エイジング研究会
共 催：アルザフォーラム2017実行委員会・新潟市

<企画の意図>

現在の日本社会には、「子どもの貧困」「貧困女子」「下流老人」と誰もが貧しいようなイメージがあり、片や一握りの超金持ちもいる。共生社会、多様性のある社会を目指しているにもかかわらず、現実とは逆の方向に進んでいる。これをどう克服するかを社会学、老年学、女性学の専門家である講師のお話をきっかけに、参加者とともに考えたいと企画した。

< 企画や集客で工夫した点 >

「分断という言葉自体を我が事として心に強く感じていない人が多い現況から、チラシのデザインには思わず手がのびて、参加につながるような力強さを期待した。



<当日の内容・参加者の反応>

分断社会を超えて、誰もが安心して暮らせる社会を実現するには、特定の世代、特定のジェンダー、特定の集団にサービスが偏りすぎないことが必要。そのためには、お互いが少しずつ譲り合い、自立した個人が緩やかに繋がり合う社会の実現が望まれるという内容であった。分断社会に至る世界の状況まで、分かりやすく教えていただいた。参加者同士もっと話し合う時間が欲しかった、との声もあった。

(渡辺美代子記)